

2. 松本大学・松本大学松商短期大学部「キッズプログラミング教室」

総合経営学部総合経営学科 室谷 心

(1)活動内容と成果

下記のようにプログラミング教室及び理科教室を開催し、学生が地域の小学生たちに対して情報科学教育や自然科学教育の活動を行った。これにより、地域への啓蒙活動を行うと同時に、学生自身の学びを深めることができた。

①「キッズプログラミング教室」及び「フィジカルコンピューティング体験コーナー」

・7月13日(土)・14日(日)

「まつもと広域ものづくりフェア」松本大学

・10月6日(日)・10月26日(土)

三郷交流学習センター「ゆりのき」

・12月21日(土)・12月22日(日)

安曇野市役所本庁舎

松大生と学ぶ

親子
プログラミング教室

おやこ きょうしつ

令和元年 10月6日(日)・26日(土)・12月21日(土)・22日(日)

【午前の部】10時～11時30分 【午後の部】2時～3時30分

10月：三郷交流学習センター「ゆりのき」
12月：安曇野市役所本庁舎

参加無料

プログラミングって難しいんじゃないの・・・そう思った君！
プログラムは日常生活のいろいろなところで使われている身近な存在なんだ！
「親子プログラミング教室」で 松本大学学生と一緒に
楽しくプログラミングを学ぼう！



NHK「ワイプログラミング」
でおなじみのScratch・タイ
ルを組み合わせると、君の命令と
おりに絵が動いて音が出る！

どなたでもご参加いただける
「体験コーナー」
もあります！

●講師：松本大学学生
●対象：小学生とその家族(何年生でもOKです)
●募集人数：各回20人(定員10人のクラスを2組作りま
す)
●4日間とも午前の部、午後の部があります。申込用紙の
「参加希望日」①～⑧のうち一つに○をつけてください。
●参加費：無料
●申込期間：9月6日(金)～9月13日(金)(土日を除く)
●お申込み方法
下の申込用紙を下記までご持参いただくか、
郵送、ファックス、又は申込書の内容をメール
でお送りください。
●お申込み・
お問い合わせ先
安曇野市役所 教育委員会 生涯学習課
社会教育担当
〒999-8521 長野県安曇野市豊科6000番地
TEL 0269-71-2465 (直通) FAX 0269-71-2338
e-mail : shogakushikushikijy.acumino.nagano.jp

主催／安曇野市教育委員会

親子プログラミング教室参加申込書

フリガナ 参加者氏名	学 年	電話番号	
付添いの ご家族の参加	有 ・ 無	※1名のみ	保護者氏名
住 所	〒		
参加希望日	10月6日(日)	10月26日(土)	12月21日(土)
希望する部	①午前 ②午後	③午前 ④午後	⑤午前 ⑥午後

※付添いのご家族の方より1人まで参加できます。パソコンをお持ちの方と共有してお願いいたします。
※兄弟・姉妹で参加したい場合 →2人でそれぞれ1台ずつ使用したい →兄弟(姉妹)でそれぞれ参加申込書を記入ください。
※兄弟・姉妹で参加したい場合 →兄弟(姉妹)でそれぞれ参加申込書を記入ください。(付添いのご家族の参加1席が有)に○を付けてください。
※会場の都合上、参加者3人以上でパソコン1台を使用するとはできません。
※お申込み多数の場合は抽選となります。また、抽選の場合は参加の方を優先いたします。

参加募集チラシ

安曇野市からの受託事業で今年で3年目なる「松大生と学ぶ親子プログラミング教室」と、micro:bitやドローンなどを使った「フィジカルコンピューティングの体験コーナー」を実施した。プログラミング

教室は、午前と午後それぞれ2クラスに分かれ、総合経営学科で情報の教員免許を目指す学生たちが、工夫して考えたオリジナルのスクラッチ教材を使って授業を行った。小学生の参加者が自分でゼロからプログラムを組み、マリオのようなジャンプして攻撃をかわすゲームや落ちてくるリングを受け取るゲームの完成を目指した。慣れないマウス操作に最初は戸惑いながらも、プログラミング独特の考え方にゆっくり慣れていき、最後には参加してくれた子供たちみんながプログラムを完成し、自分が作ったゲームで楽しんでいった。

キッズプログラミング教室

フィジカルコンピューティングの体験コーナーは、スクラッチで操るドローンや3Dカメラのkinectを使ったプログラム、micro:bitを使ったラジコンカーや戦車を披露し、体験に訪れた子どもたちに大人気だった。

フィジカルコンピューティング体験コーナー

144

②CDコマの作製

7月20日(土)「青少年のための科学の祭典 2019 松本大会」信州大学旭キャンパス

“理科や数学に関するさまざまな展示や科学実験、科学工作をととして、科学のふしぎを五感で感じてみる”ことをめざした「青少年のための科学の祭典 2019松本大会」において、情報のマルチメディア表



CDコマ作製ブース

現の基礎である光や顔料の三原色を題材とした、コマ作製体験のブースを出展した。色を塗ったCDでコマを作り、回転させると混色によって思いもよらなかった色が見える。色の不思議な世界で参加した子供達にも付添ったご両親にも大好評だった。

(2)共同活動者

矢野口 聡(短期大学部)、小林俊一(総合経営学部)

(3)成果の公表(活動発表・論文執筆等)

松本大学ホームページ 新着情報

「スマホアプリ作成体験によるプログラミング教育—Monacaのハイブリッド開発環境を利用したプログラミング教育—」

日本教育情報学会全国大会講演論文集(2019)8月
「色の混合についての考察」物理教育67 pp.241-234
「CDコマの安価な製作」物理教育68 p.52

3. 地域づくり学習会を通した学習型まちづくりの推進

総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸 洋

(1)活動内容と成果

本事業の目的は、上土商店街や松本市田川地区をフィールドに、地域住民を講師にした地域づくり学習会を開催することを通して、住民の学習活動を基盤とした「学習型まちづくり」の推進を図ろうとするものであり、学習会の開催を通して学習型地域づくりの推進に取り組んだ。本年度は特に①地域住民を講師とする、②女性や若手経営者を講師にする、③学習会の内容を深める視察研修を行うの3点を重視して企画実施した。

1)まちづくり学習会

松本の中心市街地のまちづくりについて、上土町やお城下町地域を対象として、学生と地域の住民・関係者がともに学習を行い、今後のまちづくりの実践につなげていくことを目的として「連続学習会 2019 これまでのまちづくりを振り返り、これからのまちづくりを考える」を実施した。学習会は第1部「これまでのまちづくりを振り返る」、第2部「情

報発信とまちづくり」、第3部「女性が取り組むまちづくり」の3部構成によって計画されたが、第3部は新型コロナウイルス対策のため次年度に延期された。まちづくり学習会は、松本大学観光ホスピタリティ学科が主催し、お城下町まちづくり推進協議会・大正ロマンのまちづくり協議会・上土商店街振興組合が共催して実施した。

①第1部「これまでのまちづくりを振り返る」

第1部は、「これまでのまちづくりを振り返る」として大正ロマンを掲げてまちづくりを進めてきた上土商店街と町会のまちづくりに関して、これまでまちづくりに関わってきた関係者から話を聞いたうえで、参加者全員でディスカッションを行った。具体的な内容は以下のとおりである。

〈第1回〉「なぜ大正ロマンなのか？」

12月6日(金)午後2時 15名参加

講師／上土町会長 鈴木秀三郎氏

上土商店街振興組合理事長 藤森典人氏